

○事業所名	ルームズ藤崎		
○保護者評価実施期間	2026年 1 月 10 日		～ 2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2026年 1月 16日		～ 2026年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	低学年と高学年を分けた活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年は主に身体機能や創造性を養う「運動・工作」、高学年は社会性を育む「生活スキル（自立活動）」を中心に取り入れ、また固定化をしないよう週単位で項目を変えるなどの工夫をおこなっている。</li> <li>・月に数回、合同活動を行うことで、学年をまたいだ交流の機会を設けている</li> </ul>	活動中の取り組みや状況で生じる子どもたちの課題に応じて、活動内容の柔軟な調整をおこない、より寄り添った細やかな支援をおこなっていききたい
2	毎月事業所スタッフで話し合いの場を設け、検討したうえで構成する活動支援プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ個々の専門性を活かし、担当や役割分担をおこなっている</li> <li>・様々な知識やスキルを持つ支援員が連携している</li> <li>・支援の振り返りや改善案を、自由に出し合える、開かれた職場環境づくりに努めている</li> </ul>	利用児童の年齢や成長過程、および個々の特性に応じて、専門的支援を充実させ、さらに個別のフォローを意識した支援活動ができるよう努めたい
3	活動プログラムの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽やアート、運動、食育など、支援員個々の専門的知識やスキルを活動に反映させている。</li> <li>・子どもたちの「できた」という成功体験や、自己肯定感の向上に繋げている</li> </ul>	個別支援計画の5領域に基づき、活動内容が偏らないようバランスを考慮するとともに、より細やかなところまで工夫できるように努力する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の場の不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は作品展覧会を一度開催したが、毎月継続している音楽活動や創作活動の成果を発表する機会を十分には確保できていない</li> </ul>	公共施設の利用や地域イベントへの積極的な参加を検討し、社会集団の中での活動の機会を増やしていく
2	定期的な保護者面談への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議や、連絡帳・連絡ツールでの申し送りが増えている</li> <li>・「丁寧に対応できている」と過信せず、保護者様の困り事などをその都度、受け入れられる必要がある</li> </ul>	現状の「保護者様からのご要望に応じた面談」だけでなく、気づきがあった時に柔軟に対応するよう事業所側から積極的に働きかける面談の実施にも努めていく
3	マニュアル、活動の様子などの発信が不十分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ、マニュアルをまとめた冊子などでの情報を適宜発信しているが、一方的になってしまっており、保護者に十分に届いていない。</li> </ul>	連絡帳やSNSの存在や更新を保護者に周知し、現在の情報発信ツールをより活かしていくよう努めていく